

## 環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol.20

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

## フジシールグループ 出前授業による 資源循環の啓発活動

フジシールグループは125周年を迎えました。パッケージング業界のリーディングカンパニーとして、これからも人と環境にやさしい価値を届けることで、持続可能な社会の実現に貢献し続けていきます。実現に向けた取り組みの一つとして、グループ拠点のある地域でのコミュニティ活動による出前授業\*1を実施しています。パッケージの役割についての説明や、パッケージを適切に処理すれば資源になるということを啓発する活動がメインの目的となります。こうした活動を通じて、パッケージの必要性や、資源循環に向けた取り組みを消費者の皆様と共有し、共に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。

具体的には、我々のパッケージを回収して、ケミカルリサイクルを活用して作成したエコバッグを配布し、実際に資源循環を体験して頂きながら授業を行っています。引き続き、全社的な活動の一環として、各地域の学校やコミュニティ向けに、出前授業を実施することを計画しています。

\*1 出前授業とは、企業の社員が講師として学校に出向き授業を行う支援スタイルです。

企業が本業を通して長年実施しているノウハウや大切にしている考え方を授業プログラムとして実施することで、子どもたちが日常の授業では感じえなかったWaku-Waku感や、今までの生活の中では無意識だったことに対する気づきなど、子どもたちの心に一石を投じ、人生の1ページに残るようなきらきら輝く時間を提供することにより子どもたちに大きな刺激を与えることが可能です。



授業風景



資源分別についての学び



Q&amp;Aコーナー



ラベルの製造工程の説明

## 環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol.20

また、広島県公募「令和4年度 海洋プラスチック対策（プラスチック使用量削減等）・リーディングプロジェクト支援事業」採択事業である「プラスチック資源の持続可能な利用・価値化推進プロジェクト」（実施主体：三菱ケミカル株式会社様）内における意識・行動変容を促す啓発プロジェクトにも参画しています。

消費者への啓発活動を参画いただいている団体や企業様\*2とともに、プラスチックの役割や「適切に分別すれば資源」となる点から質の高いリサイクルを推進するためにどうするべきかについて学生とともに考えました。

## 【実施した学校】

広島大学、広島工業大学、叡啓大学、玖波小学校、大竹小学校、小方小学校

また、2022年11月から2023年1月にかけて大竹市の公共施設などでペットボトルを回収し、来年2月からラベル選別検証とプラスチック資源の再価値化を実施していきます。

\*2 参画いただいた団体・企業＝広島県、大竹市、広島大学、広島工業大学、叡啓大学、一般社団法人全国清涼飲料連合会、三菱ケミカル株式会社、株式会社リコー、株式会社プーリアン、株式会社積彩、キリンビバレッジ株式会社、株式会社高山商会



授業テーマ



授業風景



グループワーク風景



シュリンクラベル装着体験